

ふじなみ

前校長挨拶



前校長 谷岡 太郎

初夏の風がさわやかな頃となりました。皆さんお変わりなくお過ごしのことと思います。貴誌第二号発行の運びとなりましたことお喜び申し上げます。さて私事ながらこの場をお借りして、私が大阪女子短期大学高等学校校長を辞したについてお話ししたいと思います。このことは重大なことではありません。なぜならば私は立場は変わりましたが、こ

れからも学校法人谷岡学園理事長として皆さんと変わらぬお付き合いしていく所存だからです。学校法人谷岡学園は現在大阪女子短期大学、大阪女子短期大学高等学校のほか二大学、一高等学校、一幼稚園と研究所を擁しています。理事長としてそのすべてを指導していかねばなりませんし、それに加えて多くの他団体の仕事もしなければなりません。関係者から多くの相談も受けます。また、自分の研究分野に割く時間も必要です。学園の規模があまりにも大きくなってしまい、理事長として学園全体のビジョンを持ちつつ指導にあたり、各設置校の長としての使命を果たすのがだんだんと困難になってきました。このままではどちらも充分に自分の使命を全うできなくなるのではないかと思います、校長を辞する決意をしたのです。これからは現校長の東田政重先生とともに、本校の発展に力を尽くしたいと思っています。皆さんの幸せとこれからますますのご活躍を祈っています。

会長挨拶



同窓会会長 室谷 千代子

紫陽花の色も鮮やかに目にしみる季節になってまいりました。同窓会員の皆様、各方面にてご活躍のことと存じます。

この度、四十年近く母校校長を務められました谷岡太郎先生が平成十一年度末でご退任されました。いつもにこやかに生徒一人ひとりとのかかわりを大

切に又、第一に考え、広い視野に立ち私たちを大きく包み込んでご指導下さいましたことを心より感謝致しております。

谷岡学園理事長として大変ご多忙とは存じますが、いつまでもお健やかで益々のご活躍を心よりお祈り申し上げますと共に、今後とも私たちを導き育てて下さいます様、お願い申し上げます。

なお、谷岡太郎先生の後任として、本短期大学学長を兼ねられました東田政重先生が新校長に就任されました。本年度の入学式におきまして「世に役立つ人物の養成」という母校が創立以来掲げてこられた建学の理念を東田先生が新入生の皆様にわかりやすく熱心にお話しされますお姿に新校長としての熱意とお人柄が伝わってまいり、大変心うたれました。ふじなみ会と致しまして、微力ながらも母校のお役に立ちたいと思っております。

今後とも、会員皆様のご支援・協力の程、宜しくお願い申し上げます。

新校長挨拶



校長 東田 政重

期大学で兼任されている学長の職とともに、この平成十一年度末を以て勇退し爾後は前掲の理事長の職務に専念する、とのご決意を明らかにされました（但し、時間の許す限り生徒達を激励するため、本校を訪れたいとのご意向です）。

そうした次第から、校長職の後継を私に託す旨のご指示を戴きました。それ故に平成十二年度よりは、私が校長という重責を担う立場に立つことになったわけですが、私自身もとより浅学非才の身だけに、果たして谷岡先生はじめ大方のご期待に沿い得るかどうか、この点甚だ懸念した次第です。私としては、将に青天の霹靂とでもいふべき事態の訪れでありました。

しかし乍ら、それでもなお非力な自身に鞭打って与えられた大役に立向かうことが、これまでに私が賜った学恩に対し些かなりと報ずる途と考え、本校関係者の強い同僚的ご協力を得て、校長として本校のより向上発展を目指し精一杯微力を傾注すること、これを私の結論としました。そのようなわけで、この平成十二年度より本教育活動の全般的な執行の任に就く者は、次のような顔触れに改まりました。

即ち、校長・東田政重、校長補佐・一宮充夫、教頭・徳野博紀、教務主任・好永保宣という布陣です。何卒、よろしくお願い申し上げます。

また、先にも少しばかり触れましたのでその意味では重複気味となりますが、ここ藤井寺キャンパス

谷岡太郎先生
学長・校長ご退任記念の会

平成十二年三月二十九日、谷岡太郎学長・校長のご退任記念の会が、三月完成したばかりの学舎三階にある「グリーンホール」で催されました。

最初に谷岡一郎専務理事が挨拶され、大阪女子短期大学の名誉教授の称号を贈ることを報告され、谷岡太郎先生は称号を授与されました。

次に短期大学学監、小川先生のお祝いの小鼓が披露され、魅了されました。

次に、卒業アルバムより先生のご紹介と楽しいエピソード、また若い頃の写真や、体育祭で先頭をきって力走されている姿など披露され、ほほえましい思いでした。

そして谷岡太郎先生の教育に対する情熱あふれる講演が行われました。また、学長・校長としてご後任の東田政重先生のご挨拶があり、新たな決意を述べられました。

時間を忘れる程、楽しくなごやかな、ご退任の会となりました。



「なつかしい先生……」

シリーズ
No.1

藤井寺時代の思い出

山際 行也



モロッコ、サハラ砂漠にて家内と（平成11年5月）

先日、ふじなみ会の室谷会長さんと佐藤佳子さんから、何か藤井寺時代の思い出を書いて欲しいと依頼があったのですが、表題の「藤井寺時代の思い出」の内容を読まれても「山際先生ってどんな先生？」と思われる方が恐らく殆どでしょうから簡単に自己紹介させて頂きますと、今から半世紀以上の昭和二十三年四月から約一年、当時の藤井寺高等学校で、高一の物理と中二の理科を担当させて頂きました。

数多くの生徒達の方を向いて授業をするのが気恥しくして横の窓から校庭を見て話をしていたせいか、後ろの席から声あり、「先生聞こえませんか。」新米教師の悲しさで、次からなるべく大きな声で話すよう心がけました。その年の五月頃には春の修学旅行があり、中二の生徒達と一緒に新緑の宇治の平等院へ行きまし。昼食時、広場に坐り、五月晴の空の下で持参の弁当を食べようと思ひ、バッグをあけるともう一つ見られぬ小さいお弁当があるではないですか。隣の女性の先生に「何で僕のバッグの中に持ってきたおぼえのないお弁当が入っているのでしょうか？」と聞きますと、その先生は笑いながら「あ、それは生徒がプレゼントしてくれたのよ。遠慮しないで食べなさい」です。どなたがくれたか尋ねるわけにもいかずだまって頂きましたが、僕の持つて来た弁当よりそのお弁当の方がずっとおいしかったのを憶えています。幸せなひとときでした。

次は学校の入口近くに教材園がありましたが、うつそうとした緑に囲まれた小さな池があり、確かかつて観たフランス映画「わが青春のマリアヌ」にでも出て来そうな幻想的な景色だったことを憶えています。

いずれも五十年以上昔の懐かしい思い出であり、あたかも走馬灯のように年老いた頭をよぎります。

「お元気です」

去年六月にふじなみ会の事務局へ一通のお手紙が届きました。
第二回卒業生の植西美佐子様から近況を伝えるものでした。読ませていただいて本当に楽しくなり、是非皆様にご紹介したいと思いました。

今年の梅雨は？ やはり時季に雨が降りませんと紫陽花が、嫌それよりも水不足の方が心配。現実的な思考で。
五十何年前……想像もしなかった立派な校舎、追々年々発展して正にお目出たの一言。ふじなみ会の役員の皆様、卒業

して行った生徒達のおかげでしょうね。私の時には、一年先の先輩が、のどかで、静かで、クロバーの丘、橋、松林、木造の校舎二棟、ピアノの音、コーラスの声、まるでおとぎの国に居るような、写生する学生、綺麗な先生、憧れた先生、乙女心をくすぐるには、お勉強するにもって来いの場所でした。近代的になった未来の校舎、沢山果立って行った人々、いろんな想いを秘めて……。

時といふのは良い事も伝えてくれます。又語り合おうと別れ、何年か後にはつらい知らせも聞きます。私は偉い元氣そのものです。長年連れ添っている主人、子育て職も終わり、今静かに月夜など手がけ、何処にそんな才能があったのかと思う位、立派なさつきが咲いております。毎日の水やり、月二回葉や肥料やり、もう終わりです。今大きなのが三鉢残っております。後始末

が大変ですから。
それが済んだら、六月三十日出発イタリ
ア十日間の旅に出かけます。コソボ紛争の
何も今イタリでもないので、息子が先年
行き良かった等申し、難民の人達の気の毒
に思っております。仕方ありません。行
って来ます。今準備で大変です。七十六の
お婆さん、出かけると言うのですからかん
べんしてもらおうかと思っております。
何しろ年寄、御期待に応えられずすみま
せん。よく忘れんとお便りいただき喜んで
おります。詮方なき状況など書き、お許し
下さいませ。
ご立派な役員さん方、よろしくお願い申
し上げます。
河内長野市木戸東町八八四一〇
植西 美佐子
(二回生・旧姓 梅垣)

すてきな仲間

「たんぽぽ会 四十六年卒業生」



通称「短附」と呼ばれていた我が母校、それをもじって、私たち普通科3クラスの仲間は、「たんぽぽ会」と名付けてはや二十余年……。

みなから尊敬され親われ続ける我が恩師、鮫島先生、厚母先生に、ご出席いただき、平成十一年秋に、第八回「たんぽぽ会」を開きました。今や、好々爺の面差しが……。

二年置きの会にも休まず出席下さり、オバタリアンと化した私たちからの毒舌にも屈する事なく、お元気でいらっしやる事は何よりです。

「このま
ま年を重
ねるだけ
の人生で
いいのだ
ろうか」
と考える
事が、幾度あったでしょうか。
二年前から、結婚と同時に封を
していた琉球舞踊の再稽古を始
めました。舞踊仲間の勧めもあ
って、ボランティア活動に参加
し、昨年には、北海道余市郡に
ある知的障害者施設、「大江学園」
へ慰問に行き、そこで、新たな
人との出会い、発見など、さま
ざまな経験をさせてもらいまし
た。また、先日三月十九日（日）
には、「交野・四条畷、こころの
病いと共に歩む会」にも、参加
させていただきました。



かりながら語り合える日を心待ちにしています。
藤井 弘子
(旧姓津島)

高校を卒業し、はや三十年余りが過ぎ去り、気がつくと、五十歳に手が届く年令になりつつあります。
三人の
子供達の
育児に追
われなが
らの毎日
でした。
「このま
ま年を重
ねるだけ
の人生で
いいのだ
ろうか」
と考える
事が、幾度あったでしょうか。
二年前から、結婚と同時に封を
していた琉球舞踊の再稽古を始
めました。舞踊仲間の勧めもあ
って、ボランティア活動に参加
し、昨年には、北海道余市郡に
ある知的障害者施設、「大江学園」
へ慰問に行き、そこで、新たな
人との出会い、発見など、さま
ざまな経験をさせてもらいまし
た。また、先日三月十九日（日）
には、「交野・四条畷、こころの
病いと共に歩む会」にも、参加
させていただきました。

今、現在の私は「介護の勉強と、琉球舞踊」どちらも人とかかわる大切な心のふれあいの場で、緊張もありますが、楽しい日々を過ごしています。
上地 禮子
(旧姓山内)

私達、昭和四十六年卒業生、三クラス合同の同窓会の名称が、「たんぽぽ会」です。上地さん、藤井さんのご尽力のもと、たんぽぽ会が生まれました。
この年になると、もう一度あの頃に戻れたらと言う言葉を耳にしますよね。会った瞬間に、まるで魔法をかけられたように、十八歳のころに戻れるような旧姓やニックネームが飛び交う中、大切な何かを、忘れていた何かを思い出させてくれます。自己紹介が始まり、近況報告になると先生方を前にして、一人一人が、クラスで発表させられていくあの頃に戻っています。おどけて言う人、優等生のままの人、あがってつまづいてしまう人、聞きながらうなずいてしまいます。菌に衣を着せぬと言いますが、驕る気持ちもなく素直に話がでるこの会は、人の話に微笑み、ある人の話に涙し、自分が反省できる、又、感謝の心を教えられる場所でもあります。皆様の同窓会の集いは、いかがでしょう。会にまだ一度も、来られてない方もいらっしやいます。たくさんバラの花もきれいに見えますが、山路に咲く黄色のたんぽぽの花にも、心動かされることもありますよね。会いに来ませんか。たんぽぽに。
心いっぱいのエッセンスをもらえませんか。よ。

森本 敦子
(旧姓深沢)

次回総会で、上地さんの琉球舞踊を鑑賞させていただきます。皆様、次回総会にぜひご出席ください。



新 完 校 舎

平成十二年三月に、地上六階建てと三階建ての新校舎が完成しました。
緑の中に、最新設備を整えた素晴らしい校舎です。三階にある「グリーンホール」は、二八〇人収容でき、本格的な映像と音響設備があり、講義、各種セミナーなどを開催します。平成十三年の総会はこのホールで開催予定しています。

3F: グリーンホール
2F: 書道教室、音楽教室、美術教室
1F: 職員室、会議室、校長室、図書室、保健室
GF: 教員コンピューター室

会員の皆様を始め、是非一度新しいキャンパスをご覧ください。いつでもお待ちいたしております。

がんばってます 後輩たち

学校だより緑涼より、心あたたまる記事を紹介しします。

「生徒会を中心に、ボランティア活動を行っています。『自己満足でいい、まず、始めよう』『他人との関わりなくして、何の学校生活か』と、緑の羽根・赤い羽根・ユニセフ台湾大地震救援募金に心じたり、切手・はがき・テレフォンカード等の回収。また、昨年十一月には、『ボランティアアトラリアル週間』を設け、集中的に回収集計に重点を置きました。ビラの配布や校内ポスターを作りしましたが、現実にはなかなか成果が上がりませんでした。

「捨ておこなベルマーク印あつめおあつめて車椅子贈らわ」
「どうせクラブでいつも遅くまで残っているのだから、苦にならない」
「おしゃべりしながらできた楽しいですよ」
と、放課後、ハサミと電卓を持つて生徒たちの計算作業。ベルマークの切り取り、点数の整理と合算、混同しやすいマークや、会社名は同じでも別会社扱いになるものや、どこか会社かわからないマークなど、紛らわしい作業にも、たのしい生徒達。

目下、二八〇〇〇点に達しました。

先輩たちに続き、一年生も今年は頑張ってくれると期待しています。外でもない、私たち全体の問題なのですから。」

この後輩たちの取り組みを、私たち卒業生もできるところで、協力できたらと思います。
ご協力いただける方は「ふじなみ会」事務局まで一報ください。

緑涼祭のお知らせ

(文化祭)

日 時/平成12年9月23日(祝)
10:00~15:00
場 所/本 校
※受付でふじなみ会員とお申し出ください。

会員の皆様、ご来場ください

平成11年度進路結果

(平成12年2月24日現在)

天学	大阪学院大学	大阪経済法科大学	大阪芸術大学	大阪産業大学	大阪樟蔭女子大学	大阪商業大学	大谷女子大学	大手前大学	岡山理科大学	京都学園大学	京都精華大学	京都ノートルダム女子大学	光華女子大学	甲南女子大学	神戸芸術工科大学	神戸女子大学	四天王寺国際仏教大学	摂南大学	相愛大学	帝塚山学院大学	大阪大学
2	2	9	7	1	5	1	1	1	2	1	1	2	1	4	2	2	1	1	3	2	4
梅花女子大学	ブール学院大学	南大阪大学	武庫川女子大学	桃山学院大学	【短期大学】 大阪青山短大	大阪音楽大学短大	大阪芸術大学短大	大阪信愛大学短大	大阪成蹊大学短大	大阪明洋大学短大	大谷女子短大	華頂短大	関西外国語大学短大	関西女子短大	金蘭短大	光華女子短大	甲子園短大				
1	1	3	2	4	1	6	1	2	3	1	2	3	1	3	2	1	1	2	4	2	1
堺女子短大	四条畷学園女子短大	四天王寺国際仏教短大	樟蔭女子短大	聖母被昇天学院短大	相愛女子短大	帝塚山短大	常盤会短大	白鳳女子短大	羽衣学園短大	梅花短大											
大阪デザイナー専門学校	ミュージック専門学校	大阪デザイナー専門学校	大阪デザイナー専門学校	大阪デザイナー専門学校	大阪デザイナー専門学校	大阪デザイナー専門学校	大阪デザイナー専門学校	大阪デザイナー専門学校	大阪デザイナー専門学校	大阪デザイナー専門学校	大阪デザイナー専門学校	大阪デザイナー専門学校	大阪デザイナー専門学校	大阪デザイナー専門学校	大阪デザイナー専門学校	大阪デザイナー専門学校	大阪デザイナー専門学校	大阪デザイナー専門学校	大阪デザイナー専門学校	大阪デザイナー専門学校	大阪デザイナー専門学校
1	4	3	3	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
大阪(ヘル)美容専門学校	大阪保健福祉専門学校	関西美容専門学校	北原学院衛生士専門学校	キャットミュージック専門学校	京都調理師専門学校	高津理容美容専門学校	国際調理師専門学校	トラジャール旅行	ホテル専門学校	日本医療学院専門学校	日本歯科学院専門学校	日本メイクアップ	アイティス学院	関西ビューティエプロ	フェッショナルスクール	北信越美容専門学校	和歌山赤十字看護専門学校				
1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

(就職)

(五十音順)

新しい会員 213名

(クラス幹事)

一組	宮崎 千春
二組	山口 良子
三組	東野 久美
四組	清原 紀子
五組	松田 裕子
六組	本多 裕子
七組	大形 千佳
八組	沖本 千佳
九組	木下 千佳
十組	河野 美由希

ご卒業おめでとうございます！

平成十二年二月二十八日に卒業されました二百十三名の「ふじなみ会」の新しい会員になりました。

ふじなみ会は会員の縦と横の連絡をより密に円滑で充実した運営を目的に活動していく為、本年度の卒業生より、毎年ごとにクラス幹事とその中から学年幹事を選出していただき、現役員として加わっていただく事になりました。

前年度より谷岡学園七〇周年記念事業の一貫として、学舎の新築工事が進められ、今年三月にめでたく竣工しました。

工されました。更に来年三月の食堂の完成にむけて着々と工事が進められております。来年度ふじなみ会総会は会員皆様に新校舎の見学をしていただき、素晴らしい機能を持った「グリーンホール」をお借りして開催したいと思っております(予定)。皆様是非お誘い合わせの上、お一人でも多くのご出席を願っております。又、平成十三年の会員名簿発行に向けて只今準備中です。

会員皆様のご支援ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

平成十二年 新幹事紹介 (学年幹事)

三組	田中 里恵
野田 薫	

本年度 退職・異動された先生方

◎退職された先生

竹岡 悦子先生



昭和三十七年四月～平成十二年三月
教科 家庭科

西田 守先生



昭和四十八年四月～平成十二年三月
教科 保健体育
(現・谷岡学園広報推進顧問)

◎着任された先生

徳野 博紀先生(教頭)



平成十二年四月
教科 数学
(大阪商業大学高等学校より)

衣笠 和彦先生



平成十二年四月
教科 国語
(大阪商業大学堺高等学校より)

小守 良昌先生



平成十二年四月
教科 理科
(大阪商業大学高等学校より)

西本 真治先生



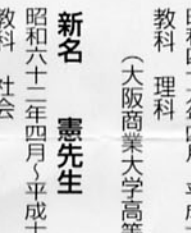
平成十二年四月
教科 理科

◎異動された先生

三浦 博先生

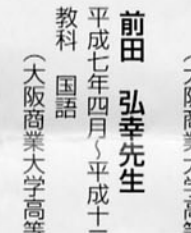
昭和四十六年四月～平成十二年三月
教科 数学
(大阪商業大学堺高等学校へ)

尼子 東吉先生



昭和四十九年四月～平成十二年三月
教科 理科
(大阪商業大学高等学校へ)

新名 憲先生



昭和六十二年四月～平成十二年三月
教科 社会
(大阪商業大学堺高等学校へ)

甲斐 明美先生

平成二年四月～平成十二年三月
教科 数学
(大阪商業大学高等学校へ)

創刊号 会報協力金・寄付金ご芳名

会員の皆様より、実に貴重な協力金及び寄付金を賜り、役員一同心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

「創刊号」のお祝いとして多くの会員の方々に、ご協力していただきました。この貴重な思いを今後のふじなみ会の運営に繋ぎたいと考えております。

旧職員 (敬称略・五十音順)

- 大 安 貢
砂 原 多鶴子
渡 辺 直子
尾 山 峰子
棚 橋 紀子
野 瀬 照子
長 久 タミ子
河 野 千鶴子
梅 田 愛子
田 中 宏恵
4 回生

5 回生

(藤井寺高等学校)

4 回生

(相愛第二高等学校)

6 回生

10 回生

13 回生

15 回生

18 回生

19 回生

21 回生

23 回生

寺川 照美
渡部 克子
吾妻 綾子
下道 澄子
高田 艶子
辻 節子
吉村 佐世子

大島 芳子
奥野 冬子
佐藤 佳子
塚本 智子
杉本 和子
谷口 和子
中谷 和子

井上 清美
加田 小夜子
南 令子
宮井 江美子
島田 善子
藤本 眞知子

山本 恵美子
山本 多恵子
池田 靖子
松村 俊子
橋原 由紀子
東野 幸子
原 捷子
宮川 昭子
武田 忍子
阿部 遵子
青木 淳子
久保 滋子
中尾 保子
永崎 弘子
山口 清子
山崎 良子
神藤 晴子
辰巳 麗子
福重 黎子
星 和子
水間 妙子
大北 久子
宝満 繁子
山谷 哲子
山瀬 喜代美
阪田 喜代美
高橋 孝子
橋本 貴子
窪田 和子
窪田 輝子
仙田 悦子
芝田 奈美子
谷口 順子
江澤 一子
河合 須美子
杉村 久子
寺田 久子

24 回生

(大阪女子短期大学附属高等学校)

26 回生

(大阪女子短期大学高等学校)

44 回生

46 回生

47 回生

48 回生

49 回生

50 回生

51 回生

52 回生

宮西 美津枝
室谷 千代子
中里 博子
上田 俊子
武内 智子
増井 美恵子
板垣 睦美子
出本 恭子
藤本 美智子
豊永 昌子
渡士 尚子
芝田 康子
辻 博美子
川石 博美子
小林 真由美子
田中 智子
森中 智子
高橋 祥子
寺崎 雅子
西田 雅子
樋口 雅子

吉川 千代子
渡部 克子
吾妻 綾子
下道 澄子
高田 艶子
辻 節子
吉村 佐世子

大島 芳子
奥野 冬子
佐藤 佳子
塚本 智子
杉本 和子
谷口 和子
中谷 和子

井上 清美
加田 小夜子
南 令子
宮井 江美子
島田 善子
藤本 眞知子

山本 恵美子
山本 多恵子
池田 靖子
松村 俊子
橋原 由紀子
東野 幸子
原 捷子
宮川 昭子
武田 忍子
阿部 遵子
青木 淳子
久保 滋子
中尾 保子
永崎 弘子
山口 清子
山崎 良子
神藤 晴子
辰巳 麗子
福重 黎子
星 和子
水間 妙子
大北 久子
宝満 繁子
山谷 哲子
山瀬 喜代美
阪田 喜代美
高橋 孝子
橋本 貴子
窪田 和子
窪田 輝子
仙田 悦子
芝田 奈美子
谷口 順子
江澤 一子
河合 須美子
杉村 久子
寺田 久子

吉川 千代子
渡部 克子
吾妻 綾子
下道 澄子
高田 艶子
辻 節子
吉村 佐世子

大島 芳子
奥野 冬子
佐藤 佳子
塚本 智子
杉本 和子
谷口 和子
中谷 和子

井上 清美
加田 小夜子
南 令子
宮井 江美子
島田 善子
藤本 眞知子

山本 恵美子
山本 多恵子
池田 靖子
松村 俊子
橋原 由紀子
東野 幸子
原 捷子
宮川 昭子
武田 忍子
阿部 遵子
青木 淳子
久保 滋子
中尾 保子
永崎 弘子
山口 清子
山崎 良子
神藤 晴子
辰巳 麗子
福重 黎子
星 和子
水間 妙子
大北 久子
宝満 繁子
山谷 哲子
山瀬 喜代美
阪田 喜代美
高橋 孝子
橋本 貴子
窪田 和子
窪田 輝子
仙田 悦子
芝田 奈美子
谷口 順子
江澤 一子
河合 須美子
杉村 久子
寺田 久子

吉川 千代子
渡部 克子
吾妻 綾子
下道 澄子
高田 艶子
辻 節子
吉村 佐世子

大島 芳子
奥野 冬子
佐藤 佳子
塚本 智子
杉本 和子
谷口 和子
中谷 和子

井上 清美
加田 小夜子
南 令子
宮井 江美子
島田 善子
藤本 眞知子

原稿募集!!

◎会報に載せませんか?
・クラス会・近況報告・趣味・催し等呼びかけ、ご利用多数おまちしています。

スタッフ募集!!

◎あなたも会報「ふじなみ」の編集スタッフになりませんか?
・編集に興味のある方、趣味、話題、エピソードなどをお持ちの方と一緒に「ふじなみ」を作ってくださいませ!!

広告募集!!

・詳細は左記連絡先へお問い合わせ下さい。

編集後記

「ふじなみ」2号も皆様のお陰をもちまして、無事発行することができました。永年、見慣れた校舎が撤去されるのを見て、と、学生時代の思い出が一つひとつ浮かんで消えて行くよう、ちよびりさびしい感じがしました。しかし、新校舎は二十一世紀を迎えるにふさわしい建物で、私たちの後輩が未来に向かって学習するには、最適なキャンパスです。この自然と最新設備を兼ね備えた中で、私たちと同様に、素晴らしい思い出づくりをしてほしいと思います。そして、この環境をいつまでも保ち続けて、次の世代へと受け継いで行くことですね。最後に、来年(平成13年6月)総会の開催予定をしておりますが、会員の皆様方へのアンケートにお答えしたいと思っております。出席していただきたい先生を、左記連絡先までお知らせ下さい。お待ちしております。

お願い

同窓会では会員の把握に努めておりますが、結婚・転宅等で毎年多くの方が、住所不明となります。住所変更の際には、同封しておりますハガキもしくは電話・FAXにて同窓会迄お知らせ下さい。また、ご知人で会報誌が届いていない方や、ご知人の住所変更、卒業後のクラス会等で名簿を作成された時も、是非、ご連絡をお願いします。

連絡先

大阪女子短期大学高等学校
同窓会ふじなみ会事務局
TEL (072) 551-0718
FAX (072) 551-5211